



REINANZAKA SCOUT CLUB



2014年
9月27日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403
ホームページ <http://reinzaka-sc.o.o7.jp/>

No.47

心より感謝して

ボーイスカウト日本連盟顧問・先達
東京港第1団名誉団委員長 杉原 正



3月下旬の休日の午後、日本連盟木村公一事務局長が急に拙宅来訪された。私に「きじ章」を5月



24日に和歌山市で開催される全国大会において贈呈するという理事長名の文書を受け取りました。表彰規程では「功労賞『きじ章』は、日本におけるスカウト運動に対し、多年にわたり特に功績顕著なる者」。



しかし、私は永年にわたりスカウト運動に関わりましたが自分が受章するに相応しいとは思っておりません。これまで受章された先哲は、すでに伝説の域に達した方ばかりです。「自分が拝受してよいものか」大いに戸惑いましたが、名誉会議と理事会の議ということで身に余る栄誉と受章させていただくことにいたしました。

「きじ章」の第1号は1952年、我が団の創設者の一人であるマーチン・B・ウィリアムズ氏であり、日本人では翌53年に三島通陽総長が受章されております。

気弱な一人っ子の私が、霊南坂教会でスカウト運動に出会い、仲間との班活動やキャンプなど様々な体験を通して「生きる力」が身に付いたこと、また有為な人生を送るために必要な基礎を会得できたことを心よ

り感謝しております。また優れたリーダーや先輩、仲間と一緒にできなかったら67年間も長続きしなかったと思います。B-Pの篤いキリスト教信仰を基盤としたスカウト運動が霊南坂教会で芽吹いたことに共感して67年間一度も途切れず、休まず日本連盟などへのお手伝いする中でも教会スカウト・東京港第1団(旧東京第4隊)に軸足を置いて活動を続けられました。スカウト、リーダー、保護者、団委員、育成会員、そしてスカウトクラブの仲間のお支えと教会関係者のご理解とご協力のお蔭であると深く感謝いたします。

7月6日の「受章を感謝する会」にはクラブのメンバーなど霊南坂スカウトをはじめ、日本連盟、他県連盟、東京連盟など150名を超える

*In doing your duty to God
always be grateful to Him.
Whenever you enjoy a
pleasure or good game, or
succeed in doing a good
thing, thank Him for it. if
only with a word or two.
— Scouting for Boys —*



ベーデン・パウエル卿の言葉
感謝を持って神への務めを行え。喜びを味わったとき、ゲームを楽しんだ時、よい事ができたときには、たとえ、ひと言・ふた言でも神に感謝を捧げよ。

(杉原 正、選)

ご来会を得たことに厚くお礼申し上げます。

現役は離れていますが、お話をしたり、書くことなど、できることでのお手伝いはこれからも続けていきます。

私の心の中には、次の聖句が思い起こされています。

「そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。」

(コロサイの信徒への手紙3章17節)

きじ章受章 感謝の会を開催



杉原正兄が2014年7月6日(日)ホテルオークラ東京において受章感謝の会を開きました。



日本連盟奥島理事長はじめスカウト関係者150名が出席、盛大な楽しい会となりました。OBのマイク真木こと真木壮一郎兄のギターに合わせて、懐かしい仲間たちと「キャンプだホイ!」「懐かしの森へ」「団歌」そして「バラが咲いた」などを歌い楽しい時を過ごすことができました。



那須の野営場に再植樹しました



霊南坂スカウト60周年を記念して植樹した花水木が枯れてしまったので去る6月8日(日)枝葉を張り大きく成長するコウヤマキを再植樹しました。11月9日(日)に下記記念プレートの設置とバーベキュー、温泉を楽しむスカウトクラブ20周年記念バスツアーを実施します。みなさま誘い合わせてご参加ください。



ステンレス製 記念プレート
東光ステンレス社の協力をいただきました

お客様や設計者のアイデアをカタチにする会社です!

有限会社 東光ステンレス

横浜市港南区日野南二丁目1番14号

電話 : 045-831-4648

FAX : 045-831-4638

業務用厨房から個人住宅のオーダーキッチンをはじめ

表札・手摺り・物干し竿等に至るまでご希望のサイズで

製作します

お気軽にお問い合わせ下さい

TOKOS®

<http://www.tokos.jp>

今年も軽井沢にスカウトクラブ ジャム工場開設

「第3回」ルバーブジャム工場操業記

こだしま のりに

夏の終わりにになると、決まって軽井沢の西郷邸には霊南坂教会バザーのスカウトクラブ名物ルバーブジャムを作りたくさんの人たちが集まります。

今年は、いつものメンバー（西郷さん、西谷さん、花山さん、檜垣さん、小田島）に加え、奈良からバスで10時間かけやってくてくれた五十嵐さん、団委員の今井さんと激励に駆け付けた山本さん、そして日帰りに来てくれた戸田さん、倉持さんと、僕もボーイスカウトだったという臨時飛び入り助っ人も加わり、たくさんの人たちが参加していただきました。

初日はルバーブジャムの材料や瓶、みんなが食べる食糧などを、五十嵐さん、今井さん、西郷さんで買い出しに出かけていただきました。全てのものを車に詰め込みスタートしようとしたのですが、なんと、荷物の重みで車が動きませんでした。あわてて荷物を半分降ろし、2回に分けて運んだのだと、、あとから来た参加者に面白おかしく話してくれて、「たいへん」「どうしてーそうなるの」などなど大騒ぎをしながら夜遅くまで楽しい作業が4日間続きました。日帰りをした戸田さん、倉持さんも庭でルバーブを洗ったり、瓶のふたをきつく締めたりパーベキュウを担当してくれたりと男手の必要などところを担ってくださったことで作業ピッチが上がりとても助かりました。

チームワークバッチリみんなの力が合わさり、楽しいおしゃべりを聞きながらコトコト煮つめられ出来上がったジャムは300個！！ テーブルに積まれたジャムを見た時、何とも言えない達成感と喜びが胸いっぱい広がりました。出来具合は上々です。一度ご賞味ください。

バザーでの販売をお楽しみに、、そして、来年の操業のご参加お待ちしております。



嬉しい協力助っ人 男性軍の参加！



2014年ガールスカウトの夏キャンプは下記のように開催されました。

- ・ブラウニー・・・7月27日～29日 桜美林大学の伊豆高原クラブ テーマ “大切な地球”
- ・ジュニア・・・7月23日～25日 山中湖村営キャンプ場 テーマ “アナとエルサ”
- ・シニア&レンジャー・・・7月29日～8月1日 東京大学千葉演習林 テーマ “生きるために”

シニアとレンジャーは、公益社団法人国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」助成事業として承認された、ガールスカウト東京都連盟 自主活動グループ “ほほえみの会” 主催の「海と森にサマーキャンプ」に参加しました。広大な自然豊かな東京大学千葉演習林に於いてキャンプディレクター古谷久代姉（4団団委員長）のもと、天候に恵まれたクルージング、東大教授のレクチャー等々鴨川の海山を体感しての貴重な経験をする事が出来ました。

海と森のサマーキャンプに参加して

ひまわりパトロールシニア一年 佐野 萌

私は、今回のキャンプに参加して海と森はつながっていると、改めて実感した。学校の教科書などで「海と森はつながっている」と読んだがあまり実感がわかかなかったのだ。

一日目のフィッシャリーナ鴨川で聞いたことで、まず実感した。台風などの災害によって木やゴミが流れてくる。そのため、漁師が川から流れてきた流木などを片付けないといけない。しかも全てボランティアだ。海をきれいにしないと、漁にも出かけられない。山をしっかりと整備しておけばこのようなことにならない。漁師がボランティアで海を掃除している写真を見て、漁師の苦勞が伝わってきた。現実には、川がダムのようにゴミなどでせきとめられてしまい、川の水が海に流れ出なくなっている。それで川からの栄養が海に行かず、プランクトンが減ってしまうのだ。実際に橋から見ると、海につながる手前でゴミが山のように積み重なり、水をせきとめているのには驚いた。

あきらかに森をしっかりと整備しない人が悪い、と思っていたが、三日目の午後の話を聞いて「そうではない」と気付かされた。そこでは今の林業の現状について聞いた。千葉演習林で売っている樹齢およそ50年で15～16メートルの木は、今は2000円ぐらいでしか売れないそうだ。10年ほど前までは今の価格の10倍の2万円ぐらいで売れていた。国産の木が安くなっているのは、今日本で使われている木材のほとんどはとて安い外国産のため、国産の木が必要とされていないからだ。現在の木材の自給率は、30%ほどという。実際、日本にある木材は、自給率が100%になるくらい今はある。日本でとれた木は、売るのには安すぎて木を育てるコストの方がはるかに高い。そのため、森林を整備するのはお金がとてかかり整備をしにくい。また、森林

への被害は動物によることもある。

私たちは真剣に考えていけないといけない。海と森の密接なつながりを。そうすれば海も森も整備され活性化し、海と森の恩恵で環境が保護され、私たちの生活も豊かになるだろう。 (ほほえみの会 報告書より転載)



シャボテンこうえんへ

ブラウニー 木村 華

わたしは、シャボテンこうえんへ行きました。ハシビロコウやインコ、ラマなどがいてびっくりしました。よの中にはいろいろなどうぶつがいるんだとおもい、おもわず目をまるくしてしまいました。行くとき、おかのうえにいつてみました。そうすると目のまえに大室山がみえました。リフトにのっている人もいるし、風がすごくてポワポワしていました。山、水、森、たはたのパトロールでどうぶつをみて、ショーも見て、おべんとうをたべてすごしました。わたしがいちばんすきなとりは、ハシビロコウです。ずっとうごいてなくて、きゆうにとんでまたとまってるのくりかえしをしていました。いろは、はいいろ、くちばしはオレンジときいろです。目はかわいくておおきかったです。はねをひろげるとすてきにみえて、こんなにすきなとりがあるとおもいませんでした。みれてよかったです。

ギャザリング GSLレンジャー 茂木千紗

7月20日～21日に代々木のオリンピックセンターに約70名のスカウトが集まり、1つのテーマについて話し合うギャザリングが開かれた。今回のテーマは「教育はすべての少女と少年の未来への扉を開く」だった。そのテーマにそって11の班に分かれ翌日の最終プレゼンに向けて話し合いが進められた。事前に調べた資料をもとに私も積極的に参加することができた。班には高3の班長がいて、班の皆が出した意見をプレゼンに向けて上手にまとめたのが印象的だった。全体会のプレゼンでは、スライドを使って聞いている人がわかりやすいように、また最後まで飽きないように寸劇風に発表した。その結果、私たちの班はプレゼン賞をもらうことができた。私は今回のギャザリングでテーマにそった話の進め方や工夫を凝らしたプレゼンの方法を学ぶことができた。また、他団のスカウトとも交流を持つことができ、とても有意義な2日間だった。今回の経験を今後のスカウト活動に生かせるようにしたいと思う。

ボーイスカウト東京港第1団



2014夏のキャンプ 感想文 BS 申 隆一

今回のキャンプは、僕のボーイスカウト人生で、一番大きなキャンプでした。小6の僕は、一番年下でキャンプ経験が浅いので、最初はちょっと緊張しましたが、楽しい仲間と頼もしい班長や隊長に助けられながら、結構楽しく過ごす事が出来ました。特に、毎日立ち釜戸を作り食事を作った事は、とても良い経験になりました。スカウトオンでは坂の中間で立ちながら聞いていたので少し集中力が欠けてしまいました。しかし、朝礼で隊長が話してくれた「誓いと掟」を実践するという事に関しては、今まで以上に重要な事だと感じました。今回は東京連盟のサマーキャンプだったので、いろいろな隊の友達と一緒にキャンプができて大変良かったと思います。 来年、世界ジャンボリーに行けたら良いなっと思います。

夏キャンプ カブ2組 鈴木優斗

僕がカブ隊の夏キャンプに行って楽しかったことは、沢山あります。まず、モノ作りをした事です。集音器と天体望遠鏡を作りました。マコト君とカノン君と僕の三人で観測隊を作り、いろいろな事を試してみました。次にゲームをした事も楽しかったです。ゲームは「人間知恵の輪」をみんなでやりました。組対抗で対決しすごく楽しかったです。カードゲームでは自分の組が負けて悔しかったです。なによりも良かった事はホテルの食事が美味しかったです。バイキング料理で皆んなで「お腹いっぱい！」食べました。また皆んなで楽しくバイキング料理が食べたいなあ～！今年の夏隊キャンプはすごく楽しかったです。また来年のキャンプが楽しみです！

TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032
東京都港区六本木 1-3-41 (アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022
東京都目黒区柿ノ木坂 3-4-9



奥島孝康

ボーイスカウト日本連盟
理事長
日本高校野球連盟会長
早稲田大学元総長

早稲田大学は野人の集団と云われる。ある意味で、徹底した個性尊重主義であり、一騎当千の連中がみんな勝手なことをやっているカオスの中で個人が鍛えられていくという独特の伝統的な教育共同体である。だからその組織は、およそ世間の常識からはほど遠い非常に個性的な共同体である。少なくとも僕が在学していたころはそうだった。

すなわち、キャンパスの混沌の中で個性を磨き上げることで、大学全体が生き生きとしてくるのである。どれもこれも同じような平凡な個によって構成されているのでは、組織としての特色もなければ、活力のある組織も生まれない。

ぼくがボーイスカウト日本連盟の理事長を務めさせていただいているのは、ボーイスカウトが単なる知力だけではなく総合的な人間力を鍛えるという「運動」であるからだ。ボーイスカウトは「組織」ではなく「運動」なのである。教室での教育ではなく、チーム学習のための野外活動という方法論をとり、教室外で心身ともに鍛えるのがスカウト活動である。ぼくは、自分の原体験から、スカウト組織はいわゆる組織体ではなく運動体であって、一見破れかぶれに見えるが、青少年の本性を生かす優れた教育法である点に共鳴している。

野外活動をしていると、周囲から次第に信望を集めていく者が必ずいる。野外での想定できないさまざまな自然現象に対して、臨機応変に対処できるスキルをもち、率先垂範してたえず全体の面倒をみることのできる者がここでは信望を集める。そういうさまざまなスキルと個性を持ち、周囲と共働しようという意欲をもった者たちがチームを組むことによって、ボーイスカウトの「班」という教育のためのチームが作られる。

組織と個人との一般的関係で言えば、まず、個を強めなければいけないが、組織がその組織としての力を発揮するためには、長年の間に育まれたその伝統や慣行といった組織の論理も大事にしていかなければならない。しかし、スカウトは運動体なのだ。運動体として発展するためには、理想の堅持と理想に対する情熱の持続力が不可欠である。

野外活動の団体とか仲間社会とかの中で学ぶ経験は、いまの学校教育の場では得られない何物かがある。学校

では、みんなが同じように、碁盤の上の碁石のように、同じ大きさの、同じ質量のものとして扱われ、個性を伸ばすことにはさほど意が払われない。碁は碁盤の上の石の配置で勝敗が決まる。だが、人は碁石ではないから、その個性を無視した配置をしては駄目なのだ。人はそれぞれがもつ個性も力も違うから、チームの中では適材を適所に配置し、それぞれの力を発揮させるよう配慮しなければならない。それは理屈ではない。集団の中でおのずと明らかになる個人のポジションのとり方によって、チーム全体のもつ力が決まる。そういう秩序がおのずとできてくるのがボーイスカウトの野外活動のもたらす成果なのだ。そこに本来の組織体と運動体との違いがある。

野外生活とは何か。簡単にいうと原始人の生活である。原始人は自然の中で生きる力を本能的に身につけていく。同時に、仲間に対する思いやりの心も。それが人間の原点であり、その原点をボーイスカウトは大切にしている。

ところが現代の社会における学校教育にあっては、自然体験により本能的に身につけていく人間の生きる力などには全く関心が払われず、むしろ無視されている。要するに、学校教育では組織の一員として等質等量の碁石のようなコマをつくることのみで教育の関心が払われている。しかし、人間は個性のない碁盤上の碁石ではない。

現代の学校という組織がそもそも個性を奪うことにのみ熱心であり、個性を生かす運動としては機能していない。そこに受験が加わることによって、そのゆがみにさらに拍車がかかっている。受験によって妙にゆがんだ競争心だけが増幅され、知力だけで人間の価値を決めるかのような考え方が社会を制している。

だが人間社会というものは、どんなに優れた学者がいても、その人1人だけではその知恵を生かすことはできない。いろいろな人たちの支援と協力がなければ、その知恵は世のため人のために生かすことはできないのだ。それが人間社会というものである。だから、ぼくたちの運動はそれぞれの個性を十全に生かせる世界の実現なのだ。



雑誌「財界」に連載されている奥島理事長のコラムが単行本として発売されました。今回はその199頁から転載しました。



隼章を取得して VS 可知 俊太郎

今回、隼章を取得して、一番感じられたのは周りの人からのサポートです。

私は今年高校3年生で、去年から受験勉強を始めていたため、スカウトに参加できる機会が減っていました。そんな中でも隊長や副長、団委員長や、親のサポートがあって、スカウトにかける時間を最小限にすることが出来ました。このようなサポートに非常に助けられたので私も将来は後輩スカウトのサポートをしたいと思いました。また隼章の上の富士章を狙ってこれからもスカウト活動を続けていきたいと思いました。



Patol-O-Ree 2014 BSA-FEC and SAJ Tokyo Part1

Friendship Carnival

Tama Hills Recreation area

9月19日～21日まで在日の米国ボーイスカウトと日本のスカウトが米軍のレクリエーション施設で交流しました。霊南坂スカウトから2名と小崎公平隊長が参加しました。

ジョイントした米国スカウトは神戸から車で来ました。

楽しい交流が出来ました。ありがとうございました。

2013年度 会計報告

スカウトクラブ昨年度の会計報告が、担当の大槻兄の急病により遅れていましたが、倉持兄の働きで集計が終わり、会計監査役、日下部兄による監査が終了しましたので報告いたします。今後の会計は臼井純一兄が実務担当します。

霊南坂スカウトクラブ2013年度決算報告

(2013年1月1日～2013年12月31日)

'14.09.23 J.U.確認

| 収入の部 | | 単位：円 | |
|---------|-----------|-----------|----------------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 前年度繰越金 | 617,172 | 617,172 | |
| 年会費 | 390,000 | 288,000 | @3000×96名(対'12年比▲28) |
| 入会金 | 10,000 | 2,000 | @1000×2名 |
| 賛助金・寄付金 | 50,000 | 57,000 | |
| 広告収入 | 12,000 | 12,000 | @6000×2件 |
| 事業費 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 50,000 | 84,055 | バザー売上 |
| 受取利息 | 100 | 54 | |
| (今年度収入) | 512,100 | 443,109 | |
| 合計 | 1,129,272 | 1,060,281 | |

| 支出の部 | | 単位：円 | |
|---------|-----------|-----------|-----------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 教会感謝献金 | 30,000 | 30,000 | |
| 事業費 | 275,000 | 290,610 | |
| (事業費内訳) | 45,000 | 46,000 | スカウトサンデー |
| | 80,000 | 142,380 | 会報印刷費(会報44,45号) |
| | 100,000 | 100,000 | 現役スカウト団支援金 |
| | | 0 | ボーイスカウト研修会 |
| | 20,000 | 0 | 講習会 |
| | 30,000 | 2,230 | 新事業 サンクスカード印刷 |
| 通信費 | 120,000 | 127,625 | 総会案内・会報輸送費、HP料 |
| 事務費 | 25,000 | 24,551 | |
| 会議費 | 30,000 | 35,000 | |
| 慶弔費 | 10,000 | 15,750 | 供花(矢鳥家) |
| 雑費 | 55,000 | 50,660 | |
| 小計 | 545,000 | 574,196 | |
| 次年度繰越金 | 584,272 | 486,085 | |
| 合計 | 1,129,272 | 1,060,281 | |

以上の通り、ご報告申し上げます。

霊南坂スカウトクラブ 会長 小崎 忠雄 (印)

会計 大槻 敬太郎 (印)

会計 浅田 きよみ (印)

会計 檜垣 君子 (印)

| スカウトクラブ基金 (単位:円) | |
|------------------|---------|
| 昨年末残金 | 660,411 |
| 受取利息 | 159 |
| 今年末残金 | 660,570 |

会計監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

会計監査 日下部 英一 (印)
柳 健一 (印)

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理



* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00

霊南坂スカウトクラブ 告知板

月例オープン集会

月例オープン集会にぜひご参加ください。現役時代に帰り・話して食べて・楽しい集会にしたいと計画しております。

原則毎月(8月は休)第2水曜日

(祭日に当たる時は第3水曜) 19時～
 神谷町の「エリー」で開催いたします。

お問い合わせは

stp@nifty.com 又は 090-3341-7311

田中新二まで・

お待ちしております。



当会報の巻頭を飾る「B-P 卿の言葉」欄に皆様の好きな言葉、いつも心に焼き付いている言葉をお寄せください。順次掲載してゆきます。今回は杉原兄に選んでいただきました。

スカウトクラブのホームページ

霊南坂スカウトの最新情報や昔懐かしい写真など、いろいろな情報が詰まったホームページを運営しています。

<http://reinanzaka-sc.o.o07.jp/>
伝言板コーナーに、ふるって投稿をお願いいたします。

皆様からの情報提供をお待ちしています。

この会報への広告出稿をお願いいたします。

サイズ：11.3×8.2cm

掲載料：1回3,000円×年2回予定
 デザイン等はお手伝します。

*下記シーサイド・トップの広告は高橋弘長兄にご配慮いただきました。

アンケートを実施します

われら霊南坂スカウトクラブは本年創設20周年を迎えました。この節目にスカウトクラブの進むべき道について皆様のご意見を伺い、これからの活動に反映してゆきたいと考えています。 役員一同

これからのスケジュール

2008年8月ボーイスカウト那須野営場で霊南坂スカウト60周年記念合同キャンプを実施した際、記念植樹(花水木)を行いました。残念ながら枯れてしまいました。そこで記念プレートを設置する「スカウトクラブ20周年記念」バスツアーを11月9日(日)に開催します。那須高原の紅葉の下でバーベキューと温泉を楽しみましょう。

参加費：3,000円

問い合わせ、申し込みはスカウトクラブホームページまたはメールで

usui4669@hotmail.co.jp

におよせください。

~~~~~  
 会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。

~~~~~

編集後記

本誌6ページに御紹介したボーイスカウト日本連盟理事長の奥島孝康氏は高校野球連盟会長のほか、さまざまな団体の理事長を務めておられ、そのほとんどが財政的に苦境にあるか、運営上の問題を抱えていて、無報酬どころか寄付の必要さえあるとのこと。

ご自身もスカウト経験を持ち、使命感と情熱で損得を度外視して「世のため人のためにほんの少しだけ、何かのお役に立つことができさえすればよい」と活動しておられます。

私たち霊南坂スカウトも身近な所で世のために役に立ち、スカウト経験の素晴らしさを語らずとも行動で示してゆきたいと思います。 田中新二

視界 360°、地上 152m からのダイナミックな景観

世界貿易センタービルディング 展望台
 展望台
シーサイド★トップ

展望台料金
 大人・高校生 620円
 小・中学生 360円
 幼児 260円

東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 40 階 (JR 浜松町駅直結) TEL:03-3435-6026
<http://www.wtcbltdg.co.jp/wtcb/facility/seaside/index.html>